※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 2001 |
|---|---|

# 令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 地理探究 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「新詳地理探究」（帝国書院）、「標準高等地図」（帝国書院） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中学校における社会科の学習や１年次に履修した地理総合の内容をもとに、教科書・地図帳・資料集・統計も活用しながら学習をすすめます。特に地理の学習においては「どこに、なにが、なぜ分布しているのか」を踏まえて考察を深めることが求められます。したがって特に地図帳は重要な学習ツールとなります。常に地図帳を横に置き学習をすすめていきましょう。

## 2　学習の到達目標

・地理的な技能を身につけ、自分の生活する地域や社会への理解を深める。
・現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察する。
・現代世界の諸課題を認識するとともに、主体的に社会に関わろうとする意欲をもつ。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 地理的事象についての基本的な事柄を歴史的条件や文化・自然と関連付けながら理解し、その知識を身に付けるとともに、地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 | 地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的・地誌的に概念などを活用して多角的・多面的に考察し、表現している。 | 地理的事象についての関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期(二年次) | 自然環境 | ・地形<br>・気候<br>・日本の自然環境<br>・地球環境問題 | a：写真、地形図、雨温図などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、その特徴や相違点などを読み取ることができる。世界の地形や気候について、系統地理的にとらえる視点や考察方法、人間生活への影響などを理解し、その知識をみに着けている。<br>b:世界と日本の環境問題の原因、影響、対策について、自然環境の学習内容などと関連付けて多面的・多角的に考察し、特徴や地域的な分布、今後の課題などについて適切にまとめ、表現できる。<br>c：世界と日本の環境問題の原因、影響、対策に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的追究し、とらえようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | レポート<br>ワークシート |
| 二学期(二年次) | 資源と産業 | ・農林水産業<br>・食料問題 | a：農林水産業の生産や分布の特徴に関する諸資料から、有用な情報を適切に選択し、農林水産業の現状や課題について適切に読み取ることができる。世界の農林水産業について、自然条件や社会条件の違いと関連付けて農業の地域区分や各農業の特徴を理解し、その知識を身につけている。<br>b:発展途上国や先進国及び日本の食料問題の状況とその成因を系統地理的にとらえる視点や考察方法を考察し、その過程や結果を適切に表現できる。<br>c：発展途上国や先進国及び日本の食料問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとする。 | 定期考査 | 定期考査 | レポート<br>ワークシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 資源と産業 | ・エネルギー・鉱産資源<br>・資源・エネルギー問題 | a：エネルギー資源や鉱産資源の生産や分布に関する統計などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、資源ごとの特徴や問題点について読み取ることができる。世界のエネルギー・鉱産資源について、その種類や分布、主な利用法などを理解し、その知識を身につけている。<br>b:資源・エネルギー問題について、生産と消費の不均衡や利用法の課題、石油情勢の背景やこれからのエネルギー利用のあり方などを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。<br>c：資源・エネルギー問題について、生産・消費の不均衡をはじめとする問題の動向に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとする。 | 定期考査 | 定期考査 | レポート<br>ワークシート |
| 三学期(二年次) | 資源と産業、交通・通信と観光、貿易 | ・工業<br>・第3次産業<br>・交通・通信<br>・観光<br>・貿易と経済圏 | a：工業生産や商業、サービス業の動向に関する統計などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、特徴や課題について読み取ることができる。工業、商業、サービス業の発展過程や種類、立地とその変化、現状と課題を理解し、その知識を身につけている。<br>b:工業の立地や発達に影響を及ぼす自然条件や社会条件をふまえて工業地域の発達と変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。<br>c：第３次産業について、近年の動向や地域差に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとする。 | 定期考査 | 定期考査 | レポート<br>ワークシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度